

科目名 (科目番号)	法 学 (時間割参照)	教員名 横山 博子	学科等	学部共通	選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			授業形態	講義	オフィスアワー	前期火3・後期水3 B322研究室	
授業概要	本講義では、日本国憲法の位置づけと構造を押さえた上で、基本的人権を中心にその内容と解釈を学びます。そして、後半では簡単に民法にも触れます。講義では難解な解釈を極力控え、身近な事例や問題を題材にして、法とは何か、法の背後にはどのような社会理念があるかを考え、法から現代社会を考察します。						
目的・目標	目標は以下の4つである。 ①日本国憲法の基本構造と枠組みを理解する。 ②民法で扱う内容を説明できる。 ③条文の読み方を知る。 ④法解釈とその根拠を理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	法律を勉強するとは	到達目標:法律の全体像と生活での役割を理解する。 学習内容:権利、義務、要件、効果、私法、公法の意味を学習する。				
	2	民法①	到達目標:民法の扱う内容と夫婦と親子間の権利義務を理解する。 学習内容:婚姻の成立・効果、離婚の要件・手続き、親権、扶養義務を学ぶ。				
	3	憲法①	到達目標:“違憲である”こと具体的な効果を説明できる。 学習内容:憲法の全体と国憲法違憲判決を学習する。				
	4	憲法②	到達目標:精神的自由として保障される対象を説明できる。 学習内容:精神的自由(表現の自由、信教の自由)を学習する。				
	5	憲法③	到達目標:経済的自由が正当化されやすい場合とそうでない場合を説明できる。 学習内容:経済的自由(職業選択の自由、営業の自由)を学習する。				
	6	憲法④	到達目標:社会権とは何かを説明できる。 学習内容:生活保護法、労働基準法、労働組合法を学習する。				
	7	憲法⑤	到達目標:一票の格差問題、衆議院の優越、議院内閣制を説明できる。 学習内容:国会、内閣、選挙制度を学ぶ。				
	8	憲法⑥	到達目標:三審制、地方自治の本旨を説明できる。 学習内容:裁判所、地方自治について学ぶ				
	9	憲法⑦	到達目標:国家賠償と損失補償の共通点と相違点、請願を説明できる。 学習内容:国家賠償、損失補償、請願を学ぶ。				
	10	憲法⑧	到達目標:象徴天皇、憲法9条の政府解釈、憲法改正の手続きを説明できる。 学習内容:天皇、平和主義、憲法改正を学ぶ。				
	11	民法②	到達目標:取り消し、無権代理、債務不履行に基づく損害賠償を説明できる。 学習内容:権利を侵害された場合の救済手段を学ぶ。				
	12	民法③	到達目標:連帯保証、物上保証の効果、破産の手続きを説明できる。 学習内容:信用が不足する場合の対応を学び、日常の落とし穴を知る。				
	13	民法④	到達目標:相続人、相続分、特別受益、遺言、遺留分を説明できる。 学習内容:相続の基礎とその手続きを学ぶ。				
	14	民事訴訟	到達目標:応訴義務、書証の重要性、上訴、差し押さえを説明できる。 学習内容:民事訴訟制度を学び、訴訟に巻き込まれた場合の注意点を知る。				
15	刑事訴訟	到達目標:令状主義、逮捕勾留、黙秘権、接見交通、調書を説明できる。 学習内容:刑事訴訟制度を学び、事件に巻き込まれた場合の注意点を知る。					
成績評価の方法・基準	授業時の小レポート(40%) + 期末テスト(60%) (対面・オンライン共通)						
教科書	一歩先への憲法入門 (第2版)		片桐直人、井上武史、大林啓吾		有斐閣		
参考図書	適宜指示する。						
教員からのメッセージ	授業内での小レポートはコメントをつけて授業内で返却します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						